

みさし

No.73 2023
令和5年2月1日

議会だより



10月会議
11月会議
12月会議

契約変更により51億円越えに	2
一般質問 4議員が10項目	6
議会懇談会を開催	14
追 跡 「通報システムが導入されました」	15
ふれあいコーナー 美里町国際交流協会(MIFA)	17

51億円超えに

12月会議が12月13日から14日まで開かれました。一般質問では4人が10項目を質問、議案の審議では条例改正や補正予算など11議案を原案どおり可決しました。

また、教育委員会委員の任命1件に同意しました。

まちづくりを

総合的に

(要旨) 公共交通および地球温暖化対策について、まちづくりを総合的に推進するため、まちづくり推進課の所管に改めたいことから課設置条例の所要の改正を行うものです。賛成全員(可決)

問 「まちづくりに関すること」と大きくくりにするのと、従来の内容が見えてこない。なぜ大きく集約したのか。また職員の異動や増減は。

答 課の名称のように、まちづくり推進に関する広い範囲を捉える形で条例に定め、詳細な業務分野は規則で定める。今後の職員体制については、しっかり取り組める職員配置を考えている。

質疑

問 防災管財課の「交通安全に関すること」を「生活安全に関すること」に改める内容は。

答 「生活安全に関すること」と明記し、その中で消防、防犯、交通安全に関する部分を担当する。

問 まちづくり推進課に

定年を延長

(要旨) 地方公務員法の改正に伴い、現行60歳となつている定年を5年4

月から2年に1歳ずつ引き上げ、13年4月に65歳とする美里町職員の定年等に関する条例など11条



多くの園児が育つた小牛田保育所分園

例の所要の改正を行うものです。

賛成全員(可決)

質疑

問 5年4月から各年度対象者は何人か。

答 また、定年延長になつた場合の賞与、期末手当などはどうなるのか。

答 5年4月1日の対象職員は5人、6年度が4人、7年度が2人、8年度が4人、65歳定年が適用になる1967年4月

保育所分園が廃園に

(要旨) 町立小牛田保育所分園について、老朽化

が著しいため廃止したいことから美里町立保育所条例の所要の改正を行うものです。

賛成全員(可決)

意見が分かれた議案の賛否一覧

令和4年度12月会議

○は賛成、×は反対、欠は欠席を表しています。議長は表決に加わりません。

議案番号	議案名	議員氏名											賛成	反対	審議結果			
		赤坂芳則	平吹俊雄	吉田二郎	山岸三男	柳田政喜	伊藤牧世	藤田洋一	櫻井功紀	鈴木恵悦	前原吉宏	佐野善弘				村松秀雄	鈴木宏通	
議案第39号	事業変更契約の締結について(美里町新中学校整備等事業)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	10	2	可決

※すべての議案の賛否一覧は美里町公式ホームページに掲載しています。

新中学校整備 契約変更により

契約金額が増額

(要旨) 美里町新中学校整備等事業の契約金額に

変更が生じたことから地盤改良に伴う不足額3291万円増額の変更契約を締結するものです。

賛成10反対2(可決)

質疑

問 変更契約による工事への影響は。また、事務

処理への影響はあるのか。
答 工事への影響はない。事務処理についても今後、影響が出ることはない。

問 ボーリング調査は田面から11メートルと聞いている。田面から4メートルの盛土を合わせると16メートルの深度になると、強度については。

答 今回の地盤改良は周りの圃場に影響を与えないための壁を造る工事ので、

地盤の全体的な改良は盛土による沈下を見て、安定した時点で完了となる。

問 全ての箇所が1立方メートルあたり100キログラム以上のセメント系固化剤添加量になっている。当初の設計と比較して整合性にかけるのでは。

答 契約時点で、増量した場合に変更できるとあり、当初は必要最小限での発注としていた。

国民健康保険税を一部減額

(要旨) 4年度に実施している被保険者均等割の特例を5年度も実施したことから、また、新たに未就学児を世帯に持つ納税義務者に対し均等割額を減額するため国民健康保険税条例の改正を行うものです。

賛成全員(可決)

質疑

問 未就学児対象の内容は。

また、新型コロナウイルスが収束になった時点で元に戻すのか。

答 4年度から国の制度に基づき未就学児の均等割額を半額にしているが、町独自でその半額の負担をゼロとする。

また、元に戻すのは、県の水準が統一化されるまでと考えている。

問 小・中学校、高校生までの配慮は考えなかったのか。

答 新型コロナウイルス感染拡大に伴い2年度から全世帯の全加入者に対し、均等割額を2万2000円から1万円にするという特例が続いている。それらを考え今回は未就学児に限定した。



変更契約を締結した新中学校地盤改良工事

人事 案件

教育委員会委員の任命

留守 ひろゆき
広行氏

(福ヶ袋)

賛成10 反対2(同意)

投票による採決の結果、教育委員会委員の任命に同意しました。任期は9年2月までの4年間です。

次期作支援に10アールあたり 1000円交付

一般会計

(要旨) 1億3322万円を追加し、総額を1億7億9264万円としました。

賛成全員(可決)

質疑

農業経営の安定を

問 農業経営安定支援金(次期作支援型)3781万円の内容は。

答 物価高騰が続き7月の大雨による農作物の被害が広範囲にわたり発生

球場掲示板が改修

問 南郷球場スコアボード改修工事請負費251万円の内容は。

答 電光掲示板の故障により、チーム名、得点表示ができないため、不点灯箇所の電源ユニット、

給食費に補助

問 新型コロナウイルス感染症対策費の学校給食費負担軽減補助金の内容は。

答 物価高騰の影響が続いていることから、保護者の負担を減らすため、3年度に実施した給食費の値上がり分の補助及び幼稚園、小・中学校の牛乳代について、それぞれ相当する額を補助するものである。町内の幼稚園、

換気ファン、電気回路の基板の部品を更改する改修工事を行うものである。

《主な歳出》

- ・引越しワンストップ支援システム導入業務委託料 385万円
- ・被災者住宅再建支援費 563万円
- ・地域型保育事業給付費負担金 △1144万円
- ・大崎市民病院救命救急センター運営費負担金 504万円
- ・農業経営安定支援金(次期作支援型) 3781万円
- ・仮設排水ポンプ運転業務委託料 △1760万円
- ・スコアボード改修工事請負費 251万円
- ・学校給食費負担軽減補助金 3072万円
- ・アスベスト調査業務委託料 .. 485万円

《主な歳入》

- ・財政調整基金繰入金 △1億1110万円
- ・繰越金 1億1113万円
- ・保育所入所児童他市町負担金 419万円



次期作支援で安定した農業経営に

アスベスト調査の必要性は

必要性は

問 補助は本年度分全額か。
答 今年度の給食は幼稚園で年間160回、小学校188回、中学校180回、その回数分を補助する。

問 小牛田保育所分園と不動態放課後児童クラブ

小・中学校に子どもが通学し、その給食費を支払っている保護者が対象で合計3072万円の補正を行う。

問 アスベスト調査業務委託料について、なぜこの時期なのか。
答 4年4月以降の解体工事はアスベスト調査の報告が義務づけられている。この時期に計上した理由は、休園施設であった小牛田保育所分園の廃止が決まったためである。また、不動態放課後児童クラブは、新施設が5年3月に完成する予定で工事が進んでいる。現施設の老朽化も進んでいることから解体を予定している。

被災住宅に助成金

11月会議では報告1件、条例改正や補正予算、契約の締結など8議案を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算

(要旨) 3622万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ116億5942万円としました。

賛成全員(可決)

質疑

被災住宅復旧に

助成金

問 豪雨災害被災住宅復旧支援事業助成金721万円の内容は。

答 4年7月の大雨により被害を受けた住宅の復旧に要した経費に対し、災害救助法に準じた助成をするもので、1つの被災住宅につき65万5千円を上限額とし支給する。

増水時に影響のある

雑木伐採

問 公園維持管理業務等委託料350万円の詳細は。

答 出来川右岸の小牛田公園と出来川が直接接している箇所に雑木が繁茂している。増水時、河川

中学校を

バリアフリー化

問 中学校施設管理927万円の詳細は。

答 不動堂中学校のバリアフリー化工事を実施する。内容は、校舎出入口およびトイレの改修、校庭におりる階段に手すりをつける工事である。

の流れに影響を及ぼす可能性があるので伐採する。



伐採される小牛田公園の斜面

10月会議では補正予算1議案を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算

(要旨) 1億2093万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ116億2321万円としました。

賛成全員(可決)

質疑

緊急支援5万円支給

問 価格高騰緊急支援給付金1億1250万円の内容は。

答 4年度分の住民税均等割が非課税世帯、4年1月から12月までの期間、

課税世帯で家計が急変し非課税世帯と同等の世帯に対し1世帯当たり5万円を支給する。対象世帯数は、2250件である。申請の期間は、5年1月31日までとなっているが、3月31日支給決定分まで支給する。

3年度除雪回数

が超過

問 基幹水利施設管理事業負担金274万円の詳細は。

答 ニツ石ダム関連施設負担金の増額で、3年度の降雪により、除雪が見込みよりも超過したもので、回数は48回である。



ズバリ 町政を問う

一般質問

議員が行財政全般について執行機関に疑問点や方針を問うものです

各議員のページでお知らせできなかった質問を抜粋しています。

一般質問あれこれ … 11



赤坂 芳則 ……
①大俵の展示施設を
②新中学校整備の設計見直しを
10



平吹 俊雄 ……
①新最終処分場候補地に名乗りを
9



伊藤 牧世 ……
①ICT支援員の代替措置は
②公共施設の管理は
8



鈴木 恵悦 ……
①笹館行政区水害対策の今後は
②小牛田駅西側の開発構想を
7

12月13日から14日に一般質問が行われました。今回は4人の議員が、小牛田駅西側の開発構想や新中学校整備、新最終処分場整備事業についてなど10項目にわたり、町の方針を問いました。

次回の一般質問は3月2日に行われます。

議会の映像を配信しています。

議場に来ることができない方も、パソコンやスマートフォンから、いつでも議会の映像を見ることができます。

議会当日は、本会議の映像を生中継で配信しています。

その後は、録画映像として配信しています。

美里町公式ホームページ
(URL:<http://www.town.misato.miyagi.jp>)
から「町議会へようこそ」



「YouTube」にアクセスしていただき、
ご覧ください。



11:44

令和4年度美里町議会12月会議 (12月14日午後)

169 回視聴 1か月前 ...その他

美里町議会事... 65 チャンネル登録

0 共有 オフライン

コメント

コメントを追加...

笹館行政区水害対策の今後は

〈町長〉出来川改修を宮城県に要望

問 7月の記録的大雨により笹館行政区で浸水被害が発生したが、被災後の笹館行政区住民との説明会の内容は。

町長 被災当日の町の対応、排水対策、被災者支援などの意見があった。排水対策については町と宮城県で対応を検討、被災者支援については町独自の支援を実施すると回答した。



出来川改修と県道の改良を

問 宮城県への対策の要望書と回答内容は。

町長 8月8日付けで迅速な復旧と抜本的な対策

を早期に講じられることなど7項目について知事に対し要望書を提出した。宮城県からはしつかり責務を果たすと回答された。

問 抜本的対策は出来川改修と県道のかさ上げによる改良であり、管理している宮城県の責任は大きい。このことに対し、町ではどう捉えているか。

町長 町は宮城県の河川管理は十分でなかったと考えている。河川の適切

な管理と出来川改修を最優先に宮城県に要望していく。

問 災害救助法の適用について、宮城県は弾力的に運用できるように国に要望していくと報道されたが、その後どうなったか。

町長 宮城県は内閣府との意見交換会で災害救助法について要望したが、国からの回答はまだないとのことであった。



すず 木 恵 悦

小牛田駅西側の開発構想を

〈町長〉現在は考えてない



小牛田駅西側の大規模開発構想は

問 美里町第2次総合計画によると、令和22年の人口は現在と比較して約5千人減少するとある。これは町の活性化の低下につながるものであり、人口減少抑制策として「美里町国土利用計画」を策定して開発構想を盛り込む考えはないか。

町長 現時点で大規模な開発構想がないので「美里町国土利用計画」の策定は考えていない。

問 旧小牛田町では、小牛田駅を中心とした場所に宅地造成開発などで人口増加を図ってきた歴史

があった。直近の駅東土地区画整理事業は人口減少抑制に寄与した。次は小牛田駅西側の開発を進めるべきと考えるが。

町長 社会情勢や費用対効果の面から現在は考えていない。

問 固定資産税や住民税など、税収面の費用対効果があり、将来の町のために、次世代の子どもたちのために、宅地造成開発構想を検討すべきと考えるが。

町長 現在は考えていない。



伊藤 まさよ

ICT支援員の代替措置は

〈教育長〉事務局職員が対応している



ICT機器を使った授業が増加

問 年度内のICT支援員配置が難しい場合はどうするのか。

教育長 各市町村の判断で配置するICT支援員は、教育委員会事務局の職員が各小中学校の相談に応じて、その都度対応している。

問 学校教育を支える視点から、ICT支援員の配置は重要である。ICT支援員が担うべき業務の負担分をどのように対応しているのか。

教育長 本町ではICT支援員を配置していない

ため、各学校の教員が担っており、それを教育委員会事務局職員が支援している。

問 ICT支援員を配置する自治体は、未配置自治体に比べ、ICT環境の整備や人材育成が進んでいる傾向にあるというが、町を挙げてICT支援員の配置を考へては。

教育長 子どもたちはICT機器を使用した生活が日常的になっていく。将来を見据えながら、適正な指導を行っていく。

公共施設の管理は

〈町長〉安全に利用できるよう努める

問 公共施設の外灯管理は担当で行っているといるが、点灯していない外灯がある。チェックは行っているのか。

町長 一部の施設において不良箇所があったことは、各担当の日常点検で発見が遅れたものと思われる。随時、適宜に修繕を実施し、来町者及び住民などが安全に利用できるように努めていく。

問 指定管理者が管理業務を行っている施設敷地内の外灯管理は管理業務の中に含まれるのか。

また、管理業務の遂行確認に関して、町の管理監督は十分に機能しているのか。

町長 指定管理者が管理することになっている。管理状況の確認は、毎

月指定管理者との連絡調整会議で、活動状況や管理状況の報告を書面で頂き、職員が確認している。今後、指定管理者とこのような日常点検の不備が出ないよう調整し、利用者には不便がないよう管理していく。

問 公共施設内で外灯が切れていたり、その周辺に草が生えていると、非常に廃れた町に見え残念である。善処していただきたいが、今後の対応は。

町長 町としても、きち

んと整備するのが当たり前のことだと思っている。職員が常に不備などところなどの情報を集め、しっかりと対応していく。

問 各施設の新型コロナウイルス対策に関する利用者名簿、個人情報報告書など必要な事項は継続し、簡素化できる部分は簡素化しては。

町長 各施設で感染者の対応を行う場合の連絡に、支障のない範囲で簡素化する。



適切な施設管理を



お 雄 俊 とし 吹 ぶき 平 ひら

※ 新最終処分場候補地に名乗りを

〈町長〉候補地が見つかり次第

問 新最終処分場整備事業を進めるうえで、これまでの経緯は。

町長 現在の最終処分場である三本木大日向クリーンパークは、12年4月に埋め立て完了となる見込みである。大崎地域広域行政事務組合では、建設に向け、2年2月から協議・検討を重ねており、現在建設用地となる候補地を構成する市町で選定作業を行っている。

問 候補地選定の条件は。

町長 選定条件は、立地回避区域を除いた平坦な土地で、3ヘクタール以上の広さであることである。

問 立地回避区域とは。

町長 自然環境や生活環境の保全、防災面を考慮した条件など、さまざま

な土地利用規制が定められた区域である。具体的には、文化財保護法の規制区域や浸水深3メートル以上の洪水浸水想定区域などで、病院や学校から100メートル以内の土地も規制区域に含まれる。

問 広報みさによると、本町では候補地の検討を進め、適地となる場所の選定作業を進めているとあるがその進捗状況は。

町長 担当課において検討しているが、適地と思われる場所は見つかっていない。

問 想定している施設の概要は。

町長 廃棄物の飛散防止、雨風などの自然環境の影響を受けずに作業が可能

となる屋根のかかった被覆型処分場で、周辺環境と調和のとれた景観になる。

問 地域住民への説明はどうするのか。

町長 町内の候補地を選定するに当たっては、関係者に説明していく。



秋田県大仙市にある被覆型施設処分場

問 環境上の問題はないか。

町長 環境上の問題はないと考えている。

問 広域での候補地協議が整わなかった場合の対応は。

町長 建設用地が決定されるまで、候補地を変えながら協議・調整を行うことになる。

問 地域振興の優遇措置など、どう考えているか。

町長 道路、集会所、公園などの整備をはじめ、地域住民の意見を伺い、周辺整備を図る。また、施設の埋め立て後は、被覆型施設の特徴を生かし、屋根付きテニスコートやフットサルコート、公園などに利用することで、地域振興を図る。

問 色麻町と本町だけが、大崎地域広域行政事務組合の施設がない。候補地として積極的に名乗りを上げたらどうか。

町長 町内に候補地が見つかり次第、積極的に名乗りを上げていく。

※一般廃棄物最終処分場とは：
家庭から排出される燃えるごみ（一般廃棄物）はクリーンセンターで焼却されます。その燃やしたごみの焼却灰など再資源化が困難なものを埋め立て処分する施設のことです。



あかさか よしあき 赤坂 芳則

大俵の展示施設を

〈町長〉設置する考えはない

問 町長が考える町の魅力は何か。
町長 現時点で無料化する考えはない。

町長 J R東北本線や陸羽東線、石巻線が接続するターミナル駅が存在し通勤通学に便利。農業生産基盤の整った農業基地であると考えている。

問 本町での人口減少対策と定住化施策の現状は。
町長 町内に持ち家を取った方に30万円の定住補助金、町外からの転入世帯に10万円の加算。子育て世帯には15歳未満の子ども1人につき20万円を加算している。

問 3歳未満の保育料、小学校・中学校の給食費を無料化してはどうか。

町長 未利用の町有地利活用については、町の基本方針を策定する方向である。一定期間、土地を無償で貸与することも検討して行く。

問 南郷地域ではギネスへの申請をめざし「世界一の大俵」の製作が進められている。土田畑村辺りに見物できる施設を設置し、町の新たな観光シンボルにできないか。

町長 現在のところ、大俵を保存・展示するための施設を設置する考えはない。



「世界一の大俵」町の新たな観光シンボルに

新中学校整備の設計見直しを

〈町長〉見直しは考えていない



工事が進められている新中学校整備

問 新中学校への通学方法について意見交換を行ったとある。学校や地域住民皆さんとも意見交換したのか。

教育長 開校準備委員会のPTA・通学検討部会の委員で意見交換を行ったものであり、学校や住民との意見交換は行っていない。

問 自転車通学などの安全対策や電車通学の費用負担はどう考えているか。

教育長 通学時の安全対策と電車通学の費用負担についてはPTA・通学検討部会で検討していく。

問 地盤改良工事に係る

追加費用3291万円の變更が提案されているが、計画段階で予測できなかったのか。さらなる追加はないのか。

町長 計画段階では最小限で設計しており、試験結果により協議するとしていた。現時点で造成工事のさらなる追加予定はない。

問 議会での議決を経ないで工事着工していたことは、議会軽視ではないか。

町長 議会への説明が不十分だったことは不適切だったと考えている。

問 物価の高騰が続いている。これ以上の上乗せはすべきでないと考える規模の縮小、内容の見直しなど、建設工事に関する設計の見直しは考えないのか。

町長 現時点で、規模の縮小、内容の見直しなど建設工事に関する設計の見直しは考えていない。

一般質問

あれこれ

鈴木 恵悦

マイナンバーカードの普及を

問 本町の普及率はどのくらいか。

町長 11月末時点で42.7%である。

問 申請しなければマイポイントが付与されず町の経済効果にも影響があると思うが。

町長 本町の経済にも影響はある。

問 町独自の普及対策は考えられないか。

町長 他自治体の取組みなどを参考にし、より多くの方が申請できる環境を整備していく。

伊藤 牧世

新中学校の通学を

安全に

問 新中学校の通学方法については、様々な疑問や意見・不安などがある。今後議論していただきたい。

また、町が防犯対策を含め考えていかなければならないのでは。

教育長 しっかりと整理し、安心して通学できるように検討を進める。

また、防犯対策は通学方法や通学路の状況によっても変わる。道路の関係も防犯の関係も整理をして、共有し、必要な対策を取っていく。

平吹 俊雄

国内治療薬「ゾコーバ」について

問 新型コロナウイルス感染症の国内治療薬の投与を含めた情報が来ているか。また、南郷病院で使用できるのか。

町長 4年11月24日付で、宮城県保健福祉部長から、町立南郷病院に経口抗ウイルス薬ゾコーバ錠125ミリグラムの医療機関及び薬局への配分について通知があった。

しかし、南郷病院では使用できない。

赤坂 芳則

若者世代就労の場

拡大を

問 若者世代就労の場を拡大するため、農業・商業者などへのさらなる支援制度の拡充を。

町長 各産業や事業者の状況を踏まえ、経営段階に応じた支援や環境づくりを推進していく。

議会の活動 (9月会議から12月会議まで)

美里町議会(本会議)	8日
決算審査特別委員会	8日
議会運営委員会	6日
全員協議会	2回
総務、産業、建設常任委員会	1回
総務、産業、建設常任委員会 所管事務調査	2日
教育、民生常任委員会	1回
教育、民生常任委員会 所管事務調査	3日
議会活性化調査特別委員会 運営小委員会	1回
議会活性化調査特別委員会 議会懇談会合同会議	4回
議会活性化調査特別委員会 特別委員会・第1分科会	4回
議会活性化調査特別委員会 特別委員会・第2分科会	2回

議会活性化調査特別委員会 研修会	1回
議会懇談会	2回
議会だより編集特別委員会	4回
市町村議会議員特別セミナー	1回
総務、産業、建設常任委員会 遠田商工会工業部会との懇談会	1回
宮城県議長会 議会広報研究会	1回

大崎地域広域行政事務組合議会

議会運営委員会	2回
議員全員協議会	2回
定例会	1回
臨時会	1回
先進地視察	1回

陳情書等一覧

10月、11月、12月会議で全議員に配付しました。

件名	提出者	受付年月日
来年度(令和5年度)の年金改定では物価の高騰に見合った年金額引き上げを求める陳情書	全日本年金者組合宮城県本部 執行委員長 小山 功	4年9月26日
旧小牛田幼稚園跡地に関する要望書	本小牛田地区 区長一同	4年9月26日
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について	宮城県春闘共闘会議 代表幹事 高橋 正行	4年11月29日

*陳情書とは、紹介議員のある請願書以外のものをいいます。

事例を調査

各常任委員会ではそれぞれの研究課題について、他自治体の事例を調査しました。報告書から抜粋してお知らせします。

移住、定住の促進について

視察先 【長野県中野市、飯綱町】

総務、産業、建設常任委員会

【目的】

全国的な少子高齢化が進む中、都市部への人口集中もあり地方の過疎化が進んでおり、移住の促進において先進的な施策により、成果を上げていく先進地の取組みに学び、本町の現状、課題、今後へのあり方などを検討し政策提言を行うため。

【概要】

中野市

① オーダーメイド見学ツアー

移住希望者の方に中野市での暮らしを実際に見て、感じてもらい、移住への一歩を踏み出してもらう。随時開催、土、日、祝日も対応する。

② がつつり農業体験
就農検討への一助とし



飯綱町での視察の様子

て、営農希望品種や体験時期に合わせて体験する作業や受入先の農業者を調整し、市職員が案内する。

③ U・J・ターン就業・創業移住支援事業補助金
東京圏、愛知県または大阪府から市内へ移住し就業、創業した方へ補助金を交付し、三大都市圏からの移住を促進する。

④ 移住セミナー、移住相談
長野県などが開催する移住セミナーに参加し、移住相談や中野市のPRを積極的に行う。

① 活力ある地域社会を実現する
目標値1. 令和7年度までの社会増を毎年度55人にする
目標値2. 令和7年度までの合計特殊出生率を毎年度1.70にする
目標値3. 令和7年度の総人口を10,035人にする

② 日本一女性が住みたくなる町へ
男性視点で町の施策が

飯綱町



中野市での視察の様子

展開されることが多く、これまでの施策を反省し女性の意見や考えを積極的に取り入れる仕組みづくりに力を入れている。多様な価値観が共存する町、ひいては誰もが住みたくなる町づくりによる社会増を目指している。

「まとめ」
中野市、飯綱町では明確な計画目標を掲げ、生活環境の保全を目的に、各種事業展開を実施し成果を上げている。特に両市町共通施策である子育て支援策について、中野市では出産祝金、子育て応援金を、飯綱町では誕生祝金、卒園・卒業等祝金を支給しており、現金給付の見直し拡充を行っている。その意気込みと本気度に共感することができた。

研究課題の

健康で長生きするために

視察先 【静岡県伊豆市、小山町】

教育、民生常任委員会

【目的】

2025年以降、高齢者人口がピークを迎える。人生100年時代を迎えようとする今、町民誰もがより長く健康に生活していけるよう積極的に保健事業、介護予防事業に取り組める工夫が必要なことから、先進地の取組施策を研修する。

【概要】

伊豆市

①伊豆市げんきプロジェクト
健康なまちづくりを目的に「減塩」「運動」「禁

煙」の3本柱を推進する活動を行っている。

②いずし健康マイレージ
健康に無関心な層への働きかけや健診受診率の向上を目的に、住民が特典を受けられる制度を行っている。

③まちの保健室
定期的に相談ができる場所を設け、市民の心身の健康維持・増進を図っている。

小山町

小山町

①おやま健康マイレージ
健康づくりやボランティア

事業



伊豆市での視察のようす

イア活動、各種イベントへ参加し、ポイントを貯め特典が得られる制度で、日常的な健康習慣・意識の増進を促している。

②高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組み
関係課、関係団体との体制を構築し、健康づくり、フレイル対策、疾病

予防・重症化予防及び介護予防の取組みを切れ目なく展開し、町民の健康

寿命の延伸を図っている。

③住民主体の健康づくり活動と行政の関わり方
「通いの場」で健康教育、健康相談、フレイル

チェックなどのサポートを行っている。

「まとめ」
両市町共にさまざまな

データを活用し、職員が積極的に活動している。

健康マイレージは、それぞれ特徴があるものの低予算で成果を上げている。参加している住民の意識向上も見られ、本町

としても積極的に取り組むべきと感じた。

また、「通いの場」を

増やすためには、各地域に対し積極的な指導と共

に援助も必要である。

介護予防、健康づくりのために、あらゆる世代が健康増進事業に参加

しやすい、休日・夜間のイベント開催なども必要



小山町での視察のようす

※12、13ページ掲載の常任委員会報告書の全文はホームページでご覧いただけます。

URL: <https://www.town.misato.miyagi.jp/>

（町議会）

監査委員

派遣報告書



令和4年 議会懇談会を開催しました

10月11日・12日の2日間、6会場で議会懇談会を開催しました。

議員は3班に分かれて各会場を担当し、2つの常任委員会の政策研究テーマについて、協議の経過を中心に報告し、その後は懇談の時間として、町民の皆さんからご質問やご意見、ご要望をいただきました。

いただいたご意見などは町政に反映させていけるように進めていきます。

今年度もコロナ禍での開催となりましたが足を運んでいただいた皆さんありがとうございました。

主な意見・要望をご紹介します

「移住、定住の促進について」

- 美里町のPRするところがあるが、美里町の魅力は何があるのか。
- 移住体験ツアーの、具体的な提案をしてほしい。
- 移住定住には、企業誘致をすべきでは。
- 高齢化も進み、空き家が多くなっている。空き家の管理について対策を考えてほしい。
- 小牛田駅から45分で仙台に行ける。始発の大きさでは。
- 提案項目を一気に進めることは厳しいと思うので、一つ一つ段階的に進めていくべきではないか。活発に進められている市町村もあると思うので参考にすべきでは。



山の神団地集会所（2班）

◆各班の構成議員（○印は班長）		
● 第1班 ○前原吉宏、吉田二郎、柳田政喜、藤田洋一		
● 第2班 ○伊藤牧世、櫻井功紀、鈴木恵悦、佐野善弘		
● 第3班 ○赤坂芳則、平吹俊雄、山岸三男、村松秀雄		
開催日	会場名と参加者数	
10月11日 (火)	農村環境改善センター	5人
	志賀町住宅集会所	9人
	中埜コミュニティセンター	13人
10月12日 (水)	青生コミュニティセンター	2人
	山の神団地集会所	16人
	下二郷コミュニティセンター	5人
参加者総数		50人

「健康で長生きするために」

- 住民主体の「通いの場」に、どこからでも誰でも参加できるようにしてほしい。
- 「通いの場」は、自治会の負担が大きい。若い人の協力、町の補助が必要である。
- 健診を受ける啓発が必要ではないか。
- 過疎化になり、人と人とのつながりが少なくなっている。
- 住民主体の「通いの場」になってきており、近所の人たちと談笑など、ふれあう機会があると良い。
- 健診受診率18%は大きな問題。健診受診率向上のための交通手段の確保をしてほしい。
- 医療費にも関係してくるので、健康診断を受診するように進めたほうが良い。

※報告書の全文はホームページでご覧いただけます。
(町議会・監査↓委員会等活動記録)



各会場で寄せられたご質問、ご意見、ご要望は「議会懇談会の結果」として、町のホームページや行政情報コーナー（本庁舎および南郷庁舎の町民ホール）でご覧いただけます。

追跡

あれどうなってんのしゃ

予算審査や決算審査で意見を付した
「その後」を報告します。

子ども達の安心安全の確保を万全に

3年11月に登米市の認定こども園に不審者が侵入した事件を受け、保育所や幼稚園などの防犯状況確認を行い、防犯用具の設置や防犯訓練など、一定基準を満たす安全性を確認しました。また、予算・決算審査分科会において、常に子どもたちの安心安全の確保に万全を期すよう求めてきました。

どうなった



通報システムが導入されました

クマイ化学工業株式会社様より子育て支援事業に役立てていただきたいとご寄附をいただきました。そのご寄附を活用し、不審者侵入など、防犯上のトラブルが発生した際にボタンを押すと県警本部の通信指令室に伝わる非常通報装置を保育所、幼稚園の3カ所に導入しました。より一層、子どもたちの安全安心の確保につながります。

議会だよりのクイズにお寄せいただいたハガキやメールのメッセージを一部ご紹介いたします。

議会だよりを見ないと

このクイズは家族で議会だよりを見ながら考えました。その中で、美里町の新中学校の事や美里町の観光の事など色々話すきっかけになりました。これからも議会だよりをよく見るようにしたいと思います。頑張ってください。

(52歳)

わかりやすい内容を

「追跡 あれどうなってるのじゃ」大変良いと思います。「こうします。この様に質問しました。これやって欲しい。」大変結構です！でももっと大切なのは「こうなりました。」という結果です。「完了！まだ途中↓継続します！まだ手をつけてません。すぐやります！」議会だよりは結果どうなったのか？だからこう行います！とわかりやすく責任感がにじみ出る内容を望みます。より良くとをモットーに！

(70歳)

クイズ楽しかった

クイズはむずかしかったけど、楽しかったです！

(10歳)

コロナが不安

8月30日に4回目のコロナのワクチン接種をし、10月19日にインフルエンザの予防接種をしました。今度はコロナワクチンの5回目また新型コロナとか不安でなりません。主人と私は外出するにも病院に通院するのにも神経をつかいます。来年こそ安心して生活できることを願っています。

(77歳)

議会だよりが楽しみ

クイズに答えるためにまた前ページにもどり一般質問を詳しく読みました。議会だよりが楽しみになりました。

障害者の記事を

身体障害者は美里町にもたくさんいます。その人達の活動ももっと記事にしてもよいと思います。

(70歳)

散歩コースにて

落葉の季節になりましたね。散歩コースの山神社のイチヨウの実もたわわになっています。先日拾ってきて洗い干しています。お酒は飲めませんがレンジでチンして食します。楽しみが増えました。家々の落葉も綺麗にしたら（道路側）散歩も清々しくなるものですヨ！編集後記はバッチリ素晴らしいです。

(72歳)

表紙写真

山神社に初詣に来たご家族を撮影させていただきました。
今年一年幸多い年になりますように。



第8回

YELL

～エール～

町内で活動している
団体を紹介します。



美里町国際交流協会(MIFA)

Q 活動をはじめたきっかけは？

A 国際性豊かな人づくりと異文化に対する相互理解を深めることを目的として、平成9年「国際交流を進める会」が発足したのが、美里町国際交流協会の始まりです。現在、235名の会員が所属し、2016年には10～20代の会員で構成するYouth部を立ち上げ、若者の交流を促進しています。

Q 議会だよりの感想・議会に一言！

A 議会の傍聴に行く事はなかなかできないので議会だよりはありがたいです。私達ユースメンバーは、美里町が大好きなので、議会で町の課題を取り上げて頂き、美里町民、在町外国人の方々が住みやすいまちになるよう期待しています。

Q 活動内容をどうぞ！

A 美里町国際交流協会では、地域に住む外国人の方々との交流や姉妹都市である米国ミネソタ州ウィノナ市との交流をサポートしています。2022年5月から町内在住の外国籍の方々が交流する場として毎月第3土曜日に「茶の間Chanoma」を開始しました。会員と参加者が日本語で世間話を楽しんだり、11月には韓国出身者の方に教わりながら料理交流をしました。毎回、みなさんが笑顔で帰る姿に交流の意義を感じます。英語を勉強中、また英語に自信が無い方でも楽しんで交流できます。海外に興味のある方、国際交流をしてみたい方、生きがいを作りたい方はぜひ私たちと活動しましょう！



グローバルな人材交流のサポートを
お願いします。

クイズ

問 ○の中には、どんな数字、文字が入るでしょうか。

- ① 12月会議は○議案を原案可決
- ② 4人の議員が10項目にわたり○○質問
- ③ 10月11・12日に令和4年○○懇談会を6会場で開催

応募方法

ハガキまたはEメールに答え、住所、氏名、年齢、ご感想などを記入の上、議会事務局までお寄せください。正解者の中から抽選で5人に記念品を差し上げます。

あて先

〒987-8602
美里町議会事務局 議会だより係
E-mail:gikai@town.misato.miyagi.jp

締切日

令和5年2月28日(火)(当日消印有効)

前号の当選者 おめでとうございます
(応募35件、正解者31人)

- ・吉田理加さん(桜木町)
- ・青沼俊則さん(中組)
- ・小野じゅんなさん(石巻市)
- ・佐々木崇さん(上二郷1)
- ・末永美幸さん(牛飼1区)

◎前号の答え

(120・6・一般)

皆さん議会を傍聴 してみませんか

次回の会議

予定

3月2日(木)午前10時から

一般質問通告書は、ご希望の方に無料で提供します。

議会ライブ YouTube 配信

会議の映像をYouTube配信しています。
ホームページからご覧になれます。

議会だよりでお伝えしきれない会議の記録は、美里町公式ホームページまたは近代文学館や南郷図書館でご覧になれます。



美里町公式ホームページ

(URL: <https://www.town.misato.miyagi.jp/>)の「町議会・監査」→「会議録」から閲覧できます。

編集後記

年末恒例、昨年の漢字は「戦」でした。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、新型コロナウイルスとの戦い、円安・物価高騰に対する戦いが背景にあったようです。当町においても、1月の豪雪、3月の大地震、7月の記録的大雨など多難な一年でした。今号の内容は、10月、11月、12月会議が主な内容ですが、町民皆さんの声を聴く「議会懇談会」についてのページを載せておきます。議会や町に対しての疑問・要望など、様々な意見を頂戴した懇談



旬を迎えたあまい美里産いちご

会、我々議員も皆さんのご意見を真摯に受け止め、議員としての務めにまい進して参ります。今は一年で一番寒い時期ですが、まもなく暖かな季節になります。春が来ると同時に早く戦争が収まり平和な世界になるように願います。「戦」はサッカーワールドカップのようなスポーツの世界だけにしたいものです。(鈴木 恵悦)

発行責任者

議長 鈴木 宏通

議会だより編集特別委員会

- 委員長 佐野 善弘
- 副委員長 伊藤 世弘
- 委員 赤坂 牧
- 委員 吉田 芳則
- 委員 鈴木 悦郎
- 委員 前原 吉宏



No.73 2023
令和5年2月1日
議会だより

発行/美里町議会 編集/議会だより編集特別委員会
〒987-8602 宮城県遠田郡美里町北浦字駒米13番地
TEL(0229)33-2118 FAX(0229)33-2402
E-mail:gikai@town.misato.miyagi.jp



検索GO!

環境に配慮し再生紙を使用しています。